

H 2 9 . 1 . 3 1  
第 8 回副首都推進本部会議

資料 4

## 国連犯罪防止・刑事司法会議の誘致について

平成 2 9 年 1 月 3 1 日

大阪府政策企画部  
大阪市経済戦略局

## 1. 「コンGRESS」の概要

### 国連犯罪防止・刑事司法会議（コンGRESS）とは

- ・犯罪防止、刑事司法分野における国連最大の国際会議  
（参加国 約150か国、参加人数 約5,000人）
- ・1955年以降、5年ごとに開催（2020年：第14回会議、開催国日本）  
**日本での開催は、1970年の京都開催以来50年ぶり。**  
前回会議（第13回）は、カタール首都ドーハ } { \* 過去の開催都市の例：  
ロンドン、ジュネーブ、ミラノ、バンコク など
- ・司法大臣、検事総長などハイレベルの各国政府代表、国際機関関係者等が参加
- ・国連加盟国が実施すべき方策を多く含む**政治宣言が採択**される  
{ \* 2015年会議...今後5年間に国際社会が取り組むべき犯罪防止・刑事司法分野の対策や協力性の方向性を提示する「ドーハ宣言」が採択された。}
- ・会議の構成：全体会合、ハイレベルセグメント（政府高官出席）、ワークショップ等の開催  
その他、各国・機関・企業等が情報発信する展示ブースなども設置

### 日本開催の意義

- ・オリンピックイヤーに、世界に向けて**日本の治安の良さをアピール**する好機
- ・学生や市民が参加するサイドイベントとの連携を通じて、**国民の犯罪防止等への関心が高まり、安全・安心な社会実現に向けた施策展開にも寄与**
- ・展示ブース等を活用した関連産業の最新技術等の情報発信やビジネス交流機会の創出

## 2 . 2020年 कांग्रेस誘致の考え方

- ・ **安全、安心なまちづくりの推進**

住民との協働による安全・安心のまちづくりの推進に注力してきた大阪の取り組みをさらに進めるとともに、世界有数の安全を達成している日本の取り組みを世界にアピール

- ・ **MICEの戦略的誘致**

府・市・経済界・観光局が一体で行う戦略的なMICE推進の取り組みの一つとして、大阪経済の活性化や都市魅力の向上に寄与

- ・ **国際交流の推進（グローバル人材の育成等）**

会議開催を機に、府民のボランティア参画などによる国際交流の推進や、国際感覚の醸成などグローバル人材の育成を推進

- ・ **大阪の都市格・知名度の向上**

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年万博開催実現に向けて世界に存在感をアピール



### 3 . 府市における取組み

#### ( 1 ) 国への提案の概要

##### 大阪府、大阪市が共同で応募

開催施設：**大阪府立国際会議場（全館）とリーガロイヤルホテル（一部）併用**

\* オプションとしてインテックス大阪を提案（2020年4月中の会議開催が困難なため）

会議開催時期：2020年4月22日～30日

\* 国が想定する会期：2020年4月中の9日間程度

##### 自治体としての独自事業の展開

- ・開催地決定後の**歓迎機運の醸成**（府民参加型の施策展開、公民連携での広報等）
- ・**会議開催期間中の様々なサポート事業の企画や実施**  
（地元主催レセプション開催、地元ボランティアによる会場運営サポート、スタディツアーやエクスカージョンの企画など）

##### 会議費用について

国（及び国連）と、地方との役割分担のもと、コンGRES開催経費は、国における負担が基本と考える。ただし、国との連携による地元参画事業など、府・市の施策推進に寄与すると判断するものについては、地元主催の取組みとは別に、必要額を負担する。

## ( 2 ) 誘致にかかる府市の基本方針

- ・誘致活動を含め、会議開催に向けた取組みは、府市が密に連携して行う。
- ・誘致活動に伴う費用については、府市それぞれが応分の負担を行う。  
その他、開催都市決定後の費用負担については、府市折半を基本としつつ、個別の協議を経て決定する。

### 【参考】

#### 開催都市決定までの今後のスケジュール

- ・2016年12月～2017年8月
- ・2017年8月末頃
- ・2018年

#### 法務省における審査

国において開催都市・施設の決定  
国連で正式決定

#### 応募状況 (法務省より / 応募期間：2016年10月27日～12月2日)

大阪府・大阪市 (共同での応募)

神戸市

非公表

広島県福山市

国立京都国際会館